

ジャパン・フィルムコミッション総会記念イベント 広島フィルム・コミッション設立20周年 記念講演会

入場無料
どなたでも
参加できます



土井裕泰(どいのぶひろ)監督
プロフィール

広島市出身。早稲田大学卒業後、TBSに入社し、数々の話題作を手がける。「愛していると言ってくれ」(95)は第33回ギャラクシー賞テレビ部門大賞を受賞。『いま、会いにゆきます』(04)で映画にも進出。興行収入28億円超の大ヒットを記録した『映画 ビリギャル』(15)。コロナ禍での公開にもかかわらず、興行収入38億円を突破した『花束みたいな恋をした』(21)。故郷広島で撮影が行われた日曜劇場「この世界の片隅に」(18)。「持続可能な恋ですか」は現在放送中。

その他代表作「ビューティフルライフ」(00)「GOOD LUCK!!」(03)「オレンジデイズ」(04)「空飛ぶ広報室」(13)「コウノドリ」(15/17)「逃げるは恥だが役に立つ」(16)「カルテット」(17)「あしたの家族」(20)映画『涙そうそう』(06)『ハナミズキ』(10)『麒麟の翼～劇場版・新参者～』(12)『罪の声』(20)

グランドプリンスホテル広島のある元宇品では日曜劇場「この世界の片隅に」の海苔漉きのシーンなどが撮影されました。

2022年6月22日(水)
16時30分～17時40分
(開場16時)

会場 グランドプリンスホテル広島
(広島市南区元宇品町23-1)

ゲスト 映画監督 土井裕泰さん

テーマ 広島で映画やドラマの話をしよう!

定員 200名 ※事前申込不要

当日、定員に達しましたら入場をお断りすることがあります。
コロナ対策のため、入場時にお名前とご連絡先をいただきます。

お問合せ 広島フィルム・コミッション
電話 082-554-1811
メール film@hiroshima-navi.or.jp

広島フィルム・コミッションは、本年設立20周年を迎えました。初支援作品『父と暮せば』から、大規模爆破ロケを行った『DOG×POLICE 純白の絆』、アニメーション『この世界の片隅に』、第94回アカデミー賞®国際長編映画賞で話題となった『ドライブ・マイ・カー』や今夏公開の『こちらあみ子』まで、多くの映画・ドラマをサポートし、支援作品は約3,000本に及びます。

これら多くの作品は、広島の皆さまのご協力があったからこそ生み出されたものに他なりません。本当にありがとうございます。

設立20周年を記念し、広島ご出身の土井裕泰監督をゲストにお迎えして、記念講演会を開催します。入場料は無料です。ぜひお越しください。